Creative Enzymes®

6G-フルクトシルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-2472

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	イヌリンは、β(2→1)結合によってスクロースのフルクトシル残基に付随する直鎖または分岐したD-フルクトフラノシル鎖からなる多糖類です。この酵素は、イヌリン鎖の末端(2→1)結合した-D-フルクトシル基を別のイヌリン分子のグルコース残基のO-6位置に転送する反□を触媒します。例えば、1-ケストース[1F-(β-D-フルクトフラノシル)スクロース]が上記の反□において供与体と受容体の両方である場合、すなわちm = 1およびn = 1の場合、生成物はスクロースと6G-ジ-β-D-フルクトフラノシルスクロースになります。この表記法では、上付き文字FとGは、スクロースのフルクトースまたはグルコース残基が置換基を持つかどうかを指定するために使用されます。あるいは、これはプライムの有無によって示されることもあります（詳細はhttp://www.chem.qmul.ac.uk/iupac/2carb/36.html#362を参照）。スクロースは反□における供与体基質にはなれず（すなわちmはゼロにはなれません）、イヌリンは受容体として機能することはできません。触媒される副反□は、供与体に□してm ≥ 0およびn = 1、受容体に□してm ≥ 0およびn ≥ 0の構造1F-(1-β-D-フルクトフラノシル)m-6G-(1-β-D-フルクトフラノシル)n スクロース間のβ-D-フルクトシル基の転送です。
別名	フルクタン:フルクタン 6G-フルクトシルトランスフェラーゼ; 1F(1-β-D-フルクトフラノシル)m スクロース:1F(1-β-D-フルクトフラノシル)nsクロース 6G-フルクトシルトランスフェラーゼ; 6G-FFT; 6G-FT; 6G-フルクトトランスフェラーゼ

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
***EC*番号**	EC 2.4.1.243
***CAS*登□番号**	79633-28-6
反□	[1-β-D-fructofuranosyl-(2→1)-]m+1-α-D-glucopyranoside + [1-β-D-fructofuranosyl-(2→1)-]n-α-D-glucopyranoside = [1-β-D-fructofuranosyl-(2→1)-]m-α-D-glucopyranoside + [1-β-D-fructofuranosyl-(2→1)-]n-β-D-fructofuranosyl-(2→6)-α-D-glucopyranoside (m > 0; n ≥ 0)
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。